

親子聖書日課

[日]正義があつてこそ、平和が生まれます。私達も自分の罪をそのままにしていては、平和は得られません。悔い改めて、主の救いを受け入れてこそ、平和になります。教会は「安らかな宿、憂いなき休息の場所」ですから、ほっとできるのです。

[月]「主を畏れることは宝」とは、この宝さえ身につけていればどんな時にも輝いて生きられます。主を畏れるには、神第一の生活を送ることです。礼拝・祈祷会に参加し、奉仕に励み、献金を精一杯捧げるなら、主の祝福と知恵が与えられます。

[火]「主は我らを裁かれる方」であるなら、罪を犯す私達には滅びしかありません。しかし「主は我らの王となって、我らを救われる」のです。それは主が私達に代わって十字架にかかり、罪を贖われたからです。「都に住む民は罪を赦される」感謝

[水]教科書・辞書はよく改訂されます。完全ではないからです。しかし、聖書は違います。「一つも欠けるものはない」のです。それは全知全能の主が語り、主の霊が導くからです。神の約束は必ず実現しますから、疑わないで聴従しましょう。

[木]「祈ってもあの人は救われない」と弱気になっては、悪魔の思うつぼです。「弱った手に力を込め、よろめく膝を強くせよ」とは、諦めないで祈ることです。その為に、祈祷会があります。祈りの友がいると、勇気百倍です。祈祷会に出席しましょう。

[金]議論に対する最善の答えは、沈黙です。ラブ・シャケの耳ざわりのよい言葉に、人々は沈黙しました。主イエスはピラトの前では一言も応えませんでした。沈黙は祈りです。人を救いに導くのは、議論では祈りです。祈りこそ、最大の伝道です。

[土]危機に直面した時、ヒデキヤは「主の神殿に行って、主に訴えましたから、主はその祈りに応えられました。問題が解決してから教会へ行くのはありません。「重荷を負う者は、私の所に来なさい」と言われた主の下へ今すぐに行きましょう。



NO.1660 2020.7/19-25 名前

	聖書	問題	答え
日	イザヤ 32:1-20	正義を生み出すものとは、こしえに何ですか。	
月	33:1-16	主をどうすることは、宝ですか。	
火	33:17-24	都に住む民は罪をどうされますか。	
水	34:1-17	ひとつも欠けるものはないのは、どんな書ですか	
木	35:1-10	弱った何に力を込め、よろめく何を強くすべきですか。	
金	36:1-22	彼らは押し黙って、ひと言もどうしませんでしたか。	
土	37:1-20	ヒデキヤ王はこれを聞くと衣を裂き、どこへ行きましたか。	
感想と祈りの課題			